

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
山梨県知事 長崎 幸太郎 殿		2025 年 7 月 4 日	
		提出者 住 所 山梨県南アルプス市吉田1000番地 Astemo株式会社 氏 名 山梨工場 サイト長 河口 利雄 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 055-282-4111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		Astemo株式会社 山梨工場	
事業場の所在地		山梨県南アルプス市吉田1000番地	
事業の種類		輸送用機械器具製造業	
産業廃棄物処理計画における計画期間		2024年(令和6年)4月1日～2025年(令和7年)3月31日	
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1040.5 t	全 処 理 委 託 量	1013.7 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	458.2 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	812.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	14 t	認定熱回収業者への処理委託量	5.5 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	132.9 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥)

有 償 物 量	
不要物等発生量	
排出量	① 562.6
実績値	
①排出量	562.6
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	562.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	562.6
⑫再生利用業者への処理委託量	562.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量	② 0
-------------	-----

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③ 0
---------------------	-----

自ら中間処理した量	④ 0
-----------	-----

④のうち熱回収を行った量	⑤ 0
--------------	-----

自ら中間処理した後の残さ量	⑥ 0
---------------	-----

自ら中間処理により減量した量	⑦ 0
----------------	-----

自ら中間処理した後再生利用した量	⑧ 0
------------------	-----

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨ 0
----------------------------	-----

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩ 562.6
---------------------	---------

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 562.6
---------------------	---------

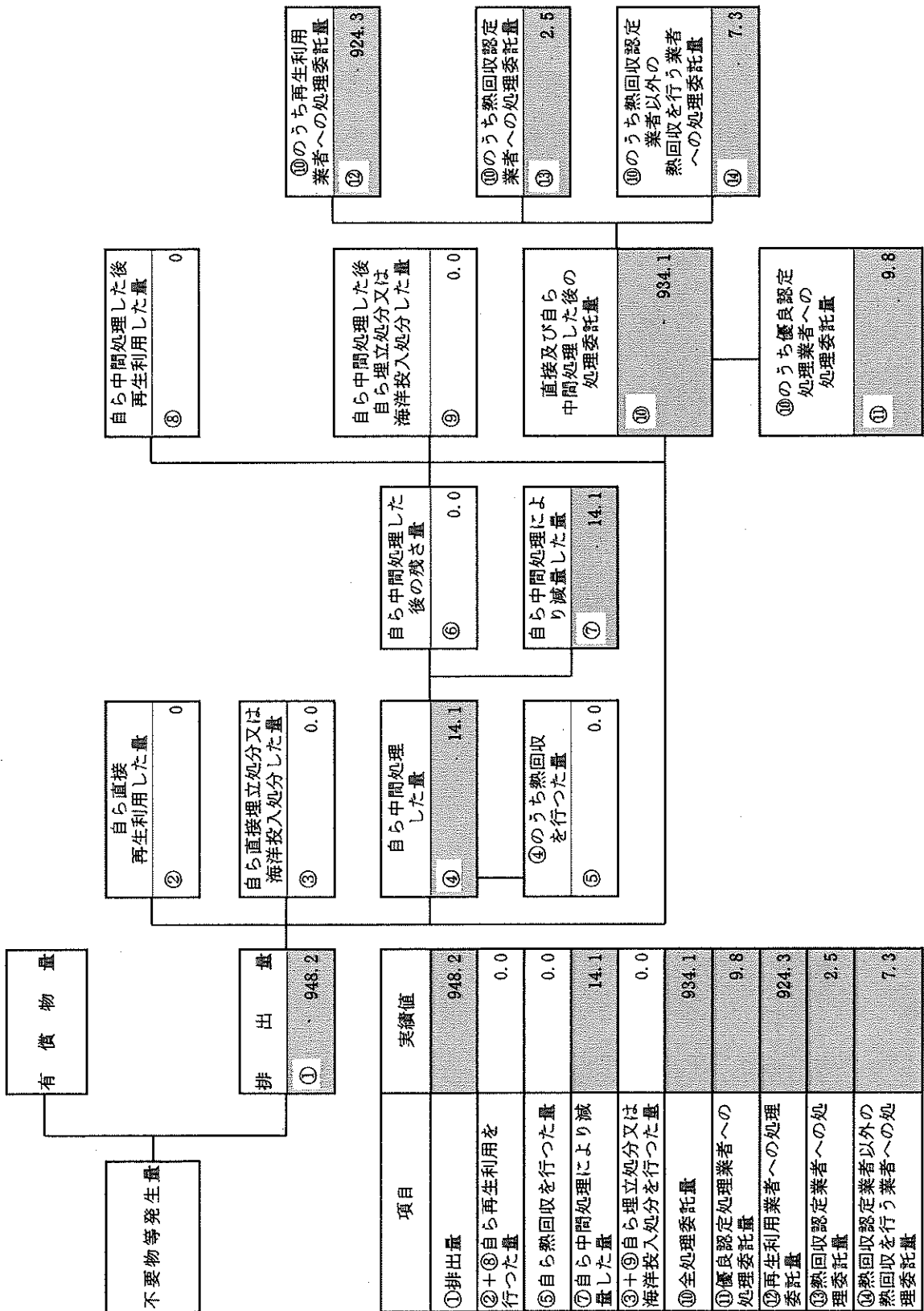
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 562.6
-------------------	---------

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0
--------------------	-----

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭ 0
-------------------------------	-----

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃油)



(産業廃棄物の種類： 廃酸)

計画の実施状況

有 償 物 量

不要物等発生量

排出量

項目	実績値
①排出量	40.8
②+③+④自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑤+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	40.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	15.0
⑫再生利用業者への処理委託量	40.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量 ② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③ 0

自ら中間処理した量 ④ 0

④のうち熱回収を行った量 ⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量 ⑥ 0

自ら中間処理した後の再生利用した量 ⑧ 0

自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨ 0

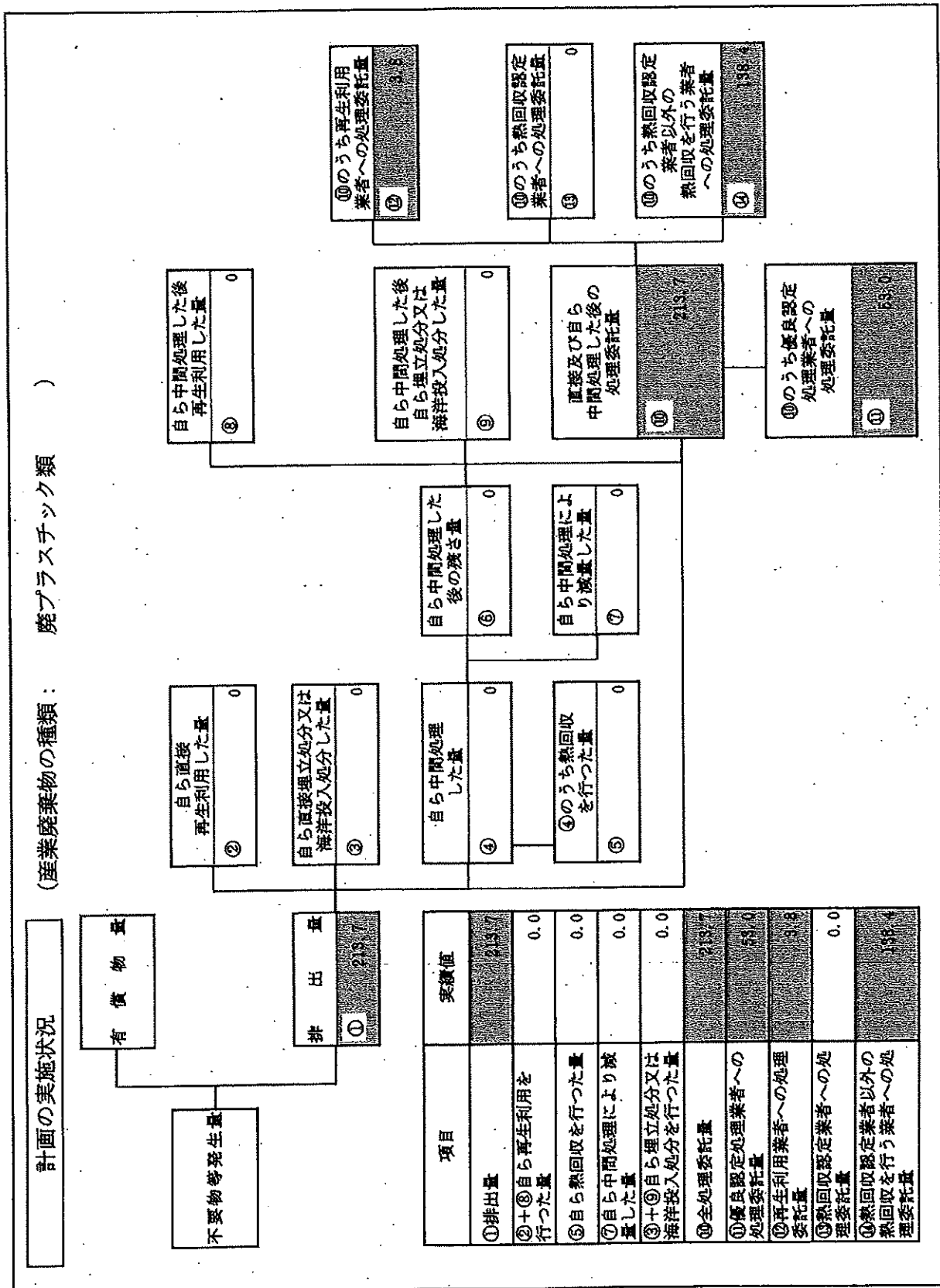
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑫ 40.8

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪ 15.0

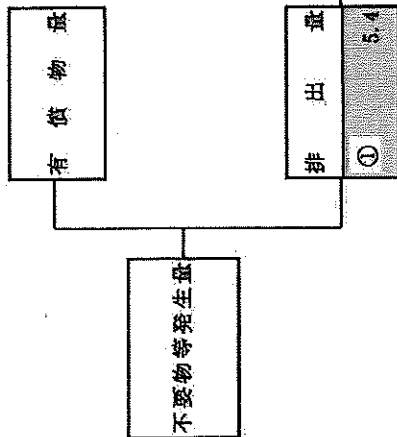
⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑬ 40.8

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭ 0





計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： ガラス陶磁器類)



自ら直接 再生利用した量	② 0
-----------------	-----

自ら中間処理した後 再生利用した量	③ 0
----------------------	-----

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	④ 0
-------------------------	-----

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑤ 0
------------------------------------	-----

項目	実績値
①排出量	5.4
②+③自ら再生利用を 行つた量	0
④自ら熱回収を行つた量	0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0
③+④自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行つた量	0
⑩全処理委託量	5.4
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0.0
⑫再生利用業者への処理 委託量	5.4
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0

自ら中間処理した 後の残さ量	⑥ 0
-------------------	-----

自ら中間処理 した量	④ 0
---------------	-----

自ら中間処理によ り減量した量	⑦ 0
--------------------	-----

④のうち熱回収 を行つた量	⑤ 0
------------------	-----

直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩ 5.4
-----------------------------	-------

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬ 0
------------------------	-----

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭ 0
---	-----

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑪ 0.0
-----------------------------	-------

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	⑫ 5.4
-----------------------	-------

(産業廃棄物の種類： 木屑)

計画の実施状況

有 償 物 量	
不要物等発生量	
排出量	76.2
①	
①排出量	75.2
②+③自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	76.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	76.2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量	②	0
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③	0
自ら中間処理した量	④	0
④のうち熱回収を行なった量	⑤	0
自ら中間処理した後の残量	⑥	0
自ら中間処理し、直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑦	0
⑧のうち再生利用業者への処理委託量	⑨	0
⑧のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩	76.2
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	76.2
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0

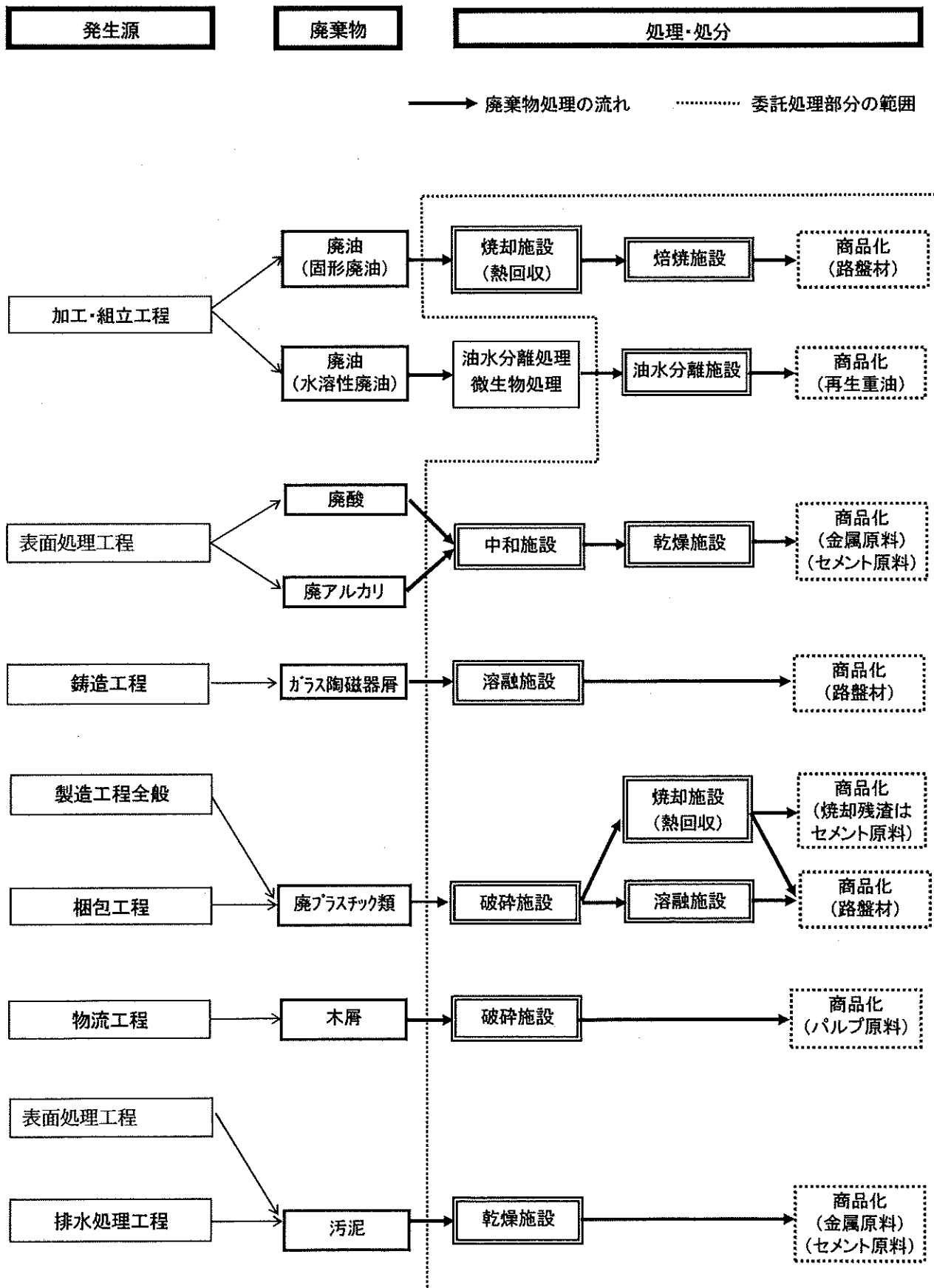
(第3面)

備考

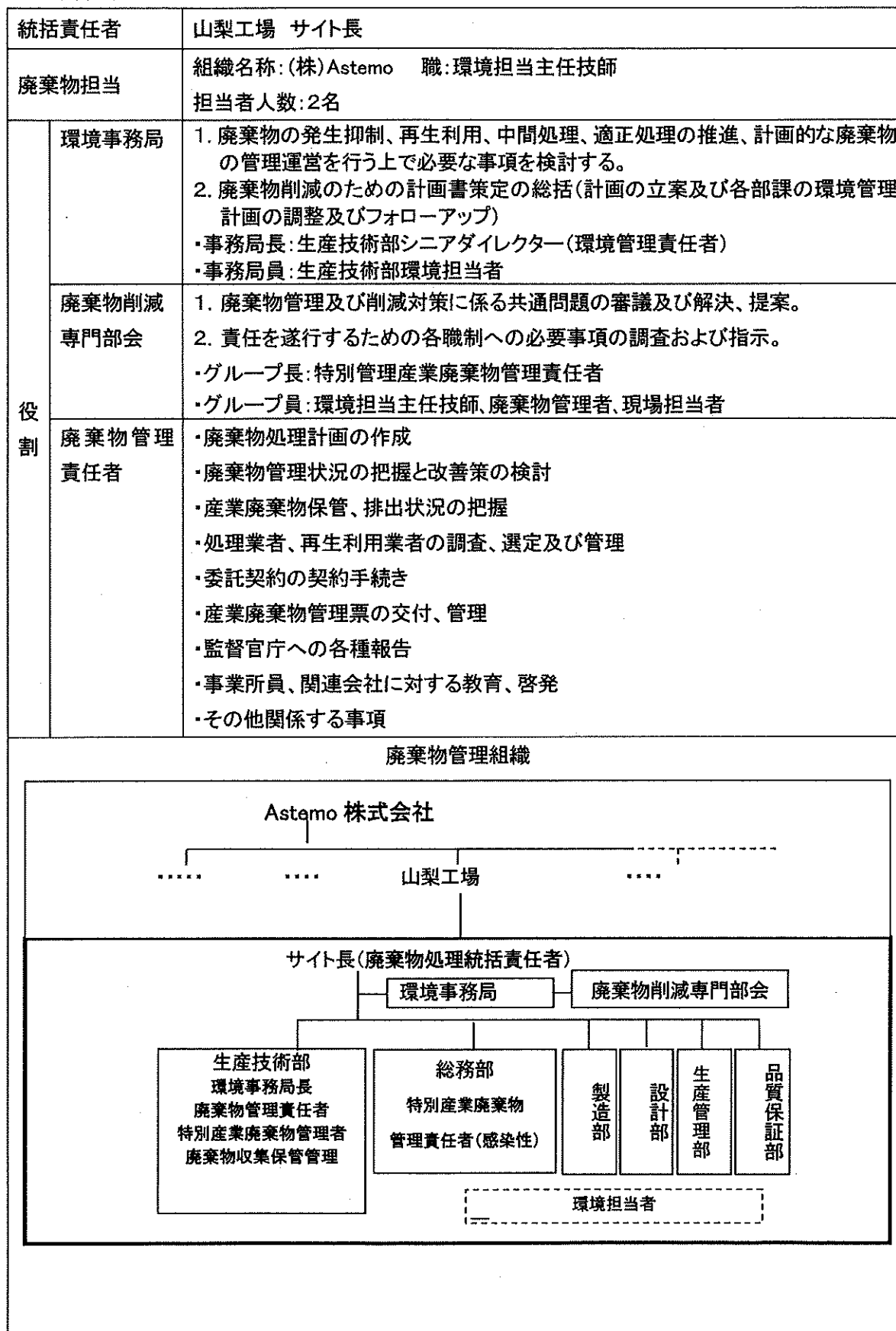
- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 産業廃棄物の一連の処理の工程



(管理体制図)



産業廃棄物の処理の委託に関する事項								
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器屑	木屑
	全処理委託量	562.6t	948.2t	40.8t	180.8t	213.7t	5.4t	76.2t
	優良認定処理業者への処理委託量	562.6t	9.8t	15.0t	48.1t	53.0t	0.0t	0.0t
	再生利用業者への処理委託量	562.6t	924.3t	40.8t	180.8t	3.8t	5.4t	76.2t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	2.5t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	7.3t	0.0t	0.0t	138.4t	0.0t	0.0t
	（これまでに実施した取組） ①汚泥含水率低減による汚泥処理委託量の削減。 ②水溶性廃油の社内微生物処理推進による廃油処理委託量削減。 ③社内排水処理能力増強による廃酸、廃アルカリ処理委託量削減。 ④プラスチック類の有価売却化推進による廃プラスチック類処理委託量の削減。 ⑤電子マニフェスト100%導入。							
② 計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	ガラス陶磁器屑	木屑
	全処理委託量	637.6t	408.5t	46.2t	38.8t	242.2t	6.2t	86.4t
	優良認定処理業者への処理委託量	637.6t	2.8t	17.0t	10.3t	60.1t	0.0t	0.0t
	再生利用業者への処理委託量	637.6t	405.7t	46.2t	38.8t	4.3t	6.2t	86.4t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0t	1.1t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	1.7t	0.0t	0.0t	156.8t	0.0t	0.0t
	（今後実施する予定の取組） 上記施策の継続と下記施策の検討 ① 水溶性廃油濃縮装置導入による廃油処理委託量の更なる削減検討。 ② プラスチック類の分別推進による有価売却化促進（廃プラ処理委託量削減）。 ③ 水処理薬品見直しによる汚泥発生量低減及び処理委託量削減。 ④ 水溶性切削油の遠心分離、ろ過による再利用検討（廃油処理委託量削減）。							
※事務処理欄								